

福岡大学病院 救命救急センター 卒後臨床研修プログラム

I. 特 徴

- ・ 福岡大学病院救命救急センターは、福岡市の南西部に位置し、糸島・筑紫地区等を含む福岡都市圏内の南西部地域の救急医療体制の中核となる3次救急医療施設である。
2018年からRapid Response Car（ドクターカー）の運用を開始し、病院前から治療を開始する『攻めの救急』を実践している。
- ・ 2020年7月からECMO（Extracorporeal Membrane Oxygenation）センターを併設し、重症呼吸不全患者さんの治療の治療を積極的に行っている。
- ・ 2024年には新病棟に移転しさらに充実した研修が可能となる

II. 診療科概要

当センターは大学病院併設型三次救命救急センターとして診療各科の協力のもとに、他施設では対応困難な多発外傷、広範囲熱傷、指肢切断、重症薬物中毒患者をはじめ、近年増加傾向にある生活習慣病に起因した脳卒中、心筋梗塞患者も積極的に受け入れている。当センターは、初療室2室、救急患者専用CT室、センター専用病床34床（ICU、HCU、一般病床を含む）、ヘリパッド（場外離着陸場）、ドクターカー（ラピッドカー：通称“FMRCエフマーク”）等を有しています。また研修医教育に加えて医学生教育、救急医・救急集中治療看護師の育成、救急救命士の病院実習など実践教育にも力を入れています。さらに福岡県災害拠点病院の1つとして県および地域の防災対策や災害医療に取り組んでおり、日本DMATチームを有しており、災害発災時には積極的に現地にチームを派遣しています。また、福岡地域メディカル・コントロール体制における基幹センターとして救急隊員・救急救命士に対する教育・指導（助言）・救急救命士の医行為に対する検証業務に取り組んでおり救急医療における診断および治療技能の確実な理解、習得ならびに救急医療における社会的側面の理解が可能である。

スタッフとして、診療部長：石倉 宏恭 教授、医局長：仲村 佳彦 講師をはじめ、講師、助教および助手20数名で構成されている。

III. 研修目標

1. わが国の救急医療体制を理解する。

救急初期診療（初期・2次・3次救急）

救急救命士制度、メディカルコントロールシステム

災害医療体制

2. 重症救急患者に対する救急初期診療を実践できる。

初期観察と評価、全身の観察と評価、治療

3. 外傷初期診療ができる。

生理・解剖学的アプローチで多発外傷に対する初期評価・初期緊急診療が出来る

4. 脳卒中の初期診療が出来る。

脳卒中の初期診療（診察、診断、治療：tPAの適応含む）が出来る。

5. 循環器疾患（急性冠症候群含む）の初期診療が出来る

6. 重症患者の集中治療呼吸管理、（人工呼吸器管理・ECMO管理を含む）を理解する。

7. 各種生体モニターを理解し、重症患者の呼吸循環管理の評価・治療ができる。

8. 重症患者の栄養、代謝管理を理解する。
9. 各種血液浄化法の理論と管理を学ぶ。
10. 中毒患者の診断と治療を学ぶ。
11. 広範囲熱傷患者の重症度評価と初期治療を学ぶ。

IV. 研修内容

1. 毎日午前 8:30 からモーニングカンファレンス
新患及び病棟患者プレゼンテーションを行う。
2. 毎日病棟チーム回診を実施
カンファレンス終了後、所属チームの回診に従事する。
3. 救急患者の初期治療に参加し、救急患者の診察法、トリアージ、蘇生法を含む救命救急手技、外科的基本手技の研修を行う。
4. 受け持ち重症患者の集中治療管理を学ぶ。
5. 週1～2 回の夜勤業務を行い夜間の救急患者の初期治療及びICU患者への対応を学ぶ。
6. ケースカンファレンス
循環器、脳卒中、呼吸器、多発外傷、脊髄損傷、頭部外傷、熱傷、特殊疾患の病態・治療について学習する。
7. 抄読会
毎週 月曜日午前8:00から最新論文の抄読会を行う。

V. 週間予定

時間	月	火	水	木	金	土	日
8:00	抄読会						
8:30	新入院患者・ICU 患者 カンファレンス						
9:30	総回診	初期診療・ICU 管理					
10:00	初期診療 ICU 業務						
17:00	入院患者・ICU 患者 カンファレンス						

- ・ 勤務体制は 2 交代によるシフト制となる。
- ・ 日勤は 8:30～17:30（1 時間休憩）、夜勤は 17:00～翌 11:00（2 時間休憩）となる。
- ・ 夜勤終了後は基本的に帰宅する。
- ・ 研修医は交代で救急患者の初期治療を担当する。
- ・ 研修医はそれぞれ救急医2名の指導医をもち、内1名とともにシフト制に導入され、勤務にあたる。指導医は1か月毎に変更する。

VI. 当科の医療安全等に係る研修医教育

1	救命救急センターガイダンス（安全管理）
2	標準感染予防策、手洗い、（感染）
3	脳卒中の対応（急性期対応）
4	心肺蘇生（BLS）（緊急時対応）
5	外傷初期診療（急性期対応）
6	心肺蘇生（ACLS）（緊急時対応）
7	グラム染色実習（感染）
毎週月曜日	インシデントレポートの解説・情報共有・検討（安全）

VII. 研修プログラム責任者

救命救急センター診療部長 石倉 宏恭（教授）

VIII. 指導医一覧

石倉 宏恭 教授	日本救急医学会指導医	日本救急医学会専門医
	日本集中治療医学会専門医	日本外傷学会専門医
	日本外科学会認定医	
	日本腹部救急医学会暫定教育医・認定医	
	日本Acute Care Surgery学会認定外科医	
	日本血栓止血学会認定医	
岩朝 光利 准教授	日本脳神経外科学会指導医	日本脳卒中学会指導医
	日本脳神経外科学会専門医	日本脳神経血管内治療学会専門医
	日本脳卒中学会専門医	日本救急医学会専門医
喜多村 泰輔 准教授	日本救急医学会指導医	日本救急医学会専門医
	日本整形外科学会専門医	日本集中治療医学会専門医
	日本航空医療学会認定指導者	
仲村 佳彦 講師	日本救急医学会指導医	日本救急医学会専門医
	日本集中治療医学会専門医	日本熱傷学会専門医
	日本中毒学会認定クリニカルトキシコロジスト	
	日本内科学会認定医	
星野 耕大 講師	日本救急医学会専門医	日本集中治療医学会専門医
	日本外科学会専門医	日本外傷学会専門医
	日本呼吸療法医学会専門医	
鯉江 めぐみ 助教	日本救急医学会専門医	日本外科学会専門医